

令和2年度 第3回いわき市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
(子ども・子育て会議) 議事録

1 開催日時

令和3年3月22日(月) 午後2時から午後4時

2 開催場所

いわき市文化センター 1階 大講義室

3 出席者

(1) 児童福祉専門分科会委員(12名出席) ※五十音順

伊藤順朗委員、金成美江委員、草野祐香利委員、強口暢子委員、志賀達生委員、菅波香織委員、杉村理一郎委員、鈴木繁治委員、鈴木潤委員、鈴木まゆみ委員、富樫那都子委員、宮内隆光委員

(2) 事務局(13名)

こどもみらい部：高萩部長、中塚次長兼総合調整担当

こどもみらい課：小島課長、園部主幹兼課長補佐、
笹越企画係長、渡邊事務主任、穂積事務主任、駒木根主事

こども支援課：中村課長

こども家庭課：武山課長、鈴木主幹兼課長補佐

学校教育課：鯨岡課長、庄司課長補佐

4 協議事項

(1) 家庭的保育事業等の認可について(資料1、1-1、1-2)

(2) 第二次市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について(資料2、資料3)

5 報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の取組について(資料4)

(2) 令和3年度当初予算(主な施策等)について(資料5)

6 その他

7 会議の形式等について

- ・ 委員半数以上の出席があり、会議が成立していることを報告した。
- ・ 会議を公開することを確認した。
- ・ 議事録は、議事に直接関係する発言又は説明内容のみを記録し、委員名を記録しない「要点筆記方式」で作成することとした。
- ・ 議事録署名人は志賀達生委員、菅波香織委員の2名を選出した。

8 内 容
 ~協議事項~

(1) 家庭的保育事業等の認可について（資料 1、1-1、1-2）

発言者	発言内容
会長	「協議事項(1) 家庭的保育事業等の認可について」、事務局より説明を求める。
事務局	資料 1、1-1、1-2に基づき説明
A委員	新たに施設を増やす場合、保育需要等の動向について、参入希望事業者に対し伝えているのか。
事務局	参入を希望する地区の保育需要のほか、供給不足地域であれば設置可能性がある旨をお伝えしている。
会長	他に意見が無ければ、分科会としては、原案に同意することとしたい。 ⇒「協議事項(1)」終了

(2) 第二次子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について（資料 2、3）

発言者	発言内容
会長	「協議事項(2) 第二次市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について」、事務局より説明を求める。
事務局	資料 2、3に基づき各課より説明
B委員	放課後児童クラブ関連事業について、非課税世帯と課税世帯の間の低所得世帯について、利用料の支払いに苦慮している方もいるので、将来的に対象範囲を広げることを検討してほしい。
C委員	放課後児童クラブ利用料助成費について、申請方法及び認定についてはどのように行うのか。
事務局	申請者のプライバシーに配慮し、対象世帯が利用料を施設へ支払った後、市へ申請いただき、市から対象世帯の口座へ直接振り込むこととしている。
C委員	放課後児童クラブの施設数については市内で充足しているのか。

事務局	<p>施設数は令和3年度で76箇所、63小学校区のうち51か所で整備済みであり、割合としては81%となっている。未整備の小学校については、小規模校であったり、送迎等で対応しており、ある程度充足しているものと考えているが、今後については、児童数の推移やニーズに合わせて施設整備を検討していきたい。</p>
D委員	<p>いわきっ子入学支援シートについて、25%前後の提出率とのことだが、提出率向上については考えているのか。また、学校によって説明に温度差があるように感じるため、統一的な説明を行ったほうが良い。</p>
事務局	<p>シートについては、申請者の意思を尊重しなければならないところであるが、提出がなかったとしても、支援が必要な子どもはフォローしているところである。</p> <p>学校からの説明については、教育委員会とも連携し、できるだけ一律の説明となるよう心掛けていきたい。</p>
C委員	<p>支援が必要な子どもの保護者についても配慮が必要なケースの場合、シートの記載が難しいことも想定されるが、その場合の支援等はあるのか。</p>
事務局	<p>家庭の状況を子育てサポートセンターが把握し、必要に応じて保護者等についても支援を行っている。</p>
D委員	<p>就学援助金について、対象から私立が除外されていることについて、改善を図るようお願いしたい。</p>
事務局	<p>現在、私立については対象外としている。なお、県内の他自治体についても同様の対応である。ご意見については参考とさせていただきたい。</p>
E委員	<p>小学校で不登校となったが、私立に編入し学校に通えるようになった子もいる。私立にもそういったニーズがあるため、援助を検討していただければと思う。</p>
C委員	<p>ホームスタート事業について、利用者の要件はあるのか。</p> <p>また、利用料、回数制限はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>内容についてはP12に記載のとおり。本事業は特定非営利活動法人Commune with 助産師に委託しており、対象者は育児不安を持つ方で、相談料等は無料、週に1回で4回程度訪問することとしている。ボランティアで運営するため無料としており、事業費としてはオーガナイザーの</p>

	手当や派遣旅費等となっている。
C委員	支援が必要な方へ制度の周知は行き届いているのか。
事務局	母子保健コンシェルジュが妊産婦への全数面談により、窓口等で説明・周知を行っている。対象者の状況に合わせて、養育支援訪問事業やヘルパー派遣事業など、最適な事業を見極め、提案している。
F委員	放課後児童クラブ利用料助成費について、利用できるのは市から委託を受けている児童クラブのみとなるのか。
事務局	市から委託をしている放課後児童クラブのみである。
会長	分科会としては、只今いただいた意見などを参考にしながら、より事業の効果が発揮できるよう、今後の取組を推進していただくようお願いしたい。 ⇒「協議事項(2)」終了

～報告事項～

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の取組について（資料4）

発言者	発言内容
会長	「報告事項(1) 新型コロナウイルス感染症対策の取組について」、事務局より説明を求める。
事務局	資料4に基づき説明 ⇒「報告事項(1)」終了

(2) 令和3年度当初予算（主な施策等）について（資料5）

発言者	発言内容
会長	「報告事項(2)の令和3年度当初予算（主な施策等）について」、事務局より説明を求める。
事務局	資料5に基づき説明
A委員	感染症対策に関する予算は、例年の予算規模に内包せず、純粋に増額となっているのか。
事務局	通常の事業費に加えて、別途、新型コロナウイルス感染症対策事業を計上している。 ⇒「報告事項(2)」終了